

令和 8 年 度 第 1 回
宮城県地域医療構想調整会議
(石巻・登米・気仙沼区域)
資 料 6

令和 8 年 8 月 5 日

石巻地区を中心とした高齢者救急に係る 転院調整について

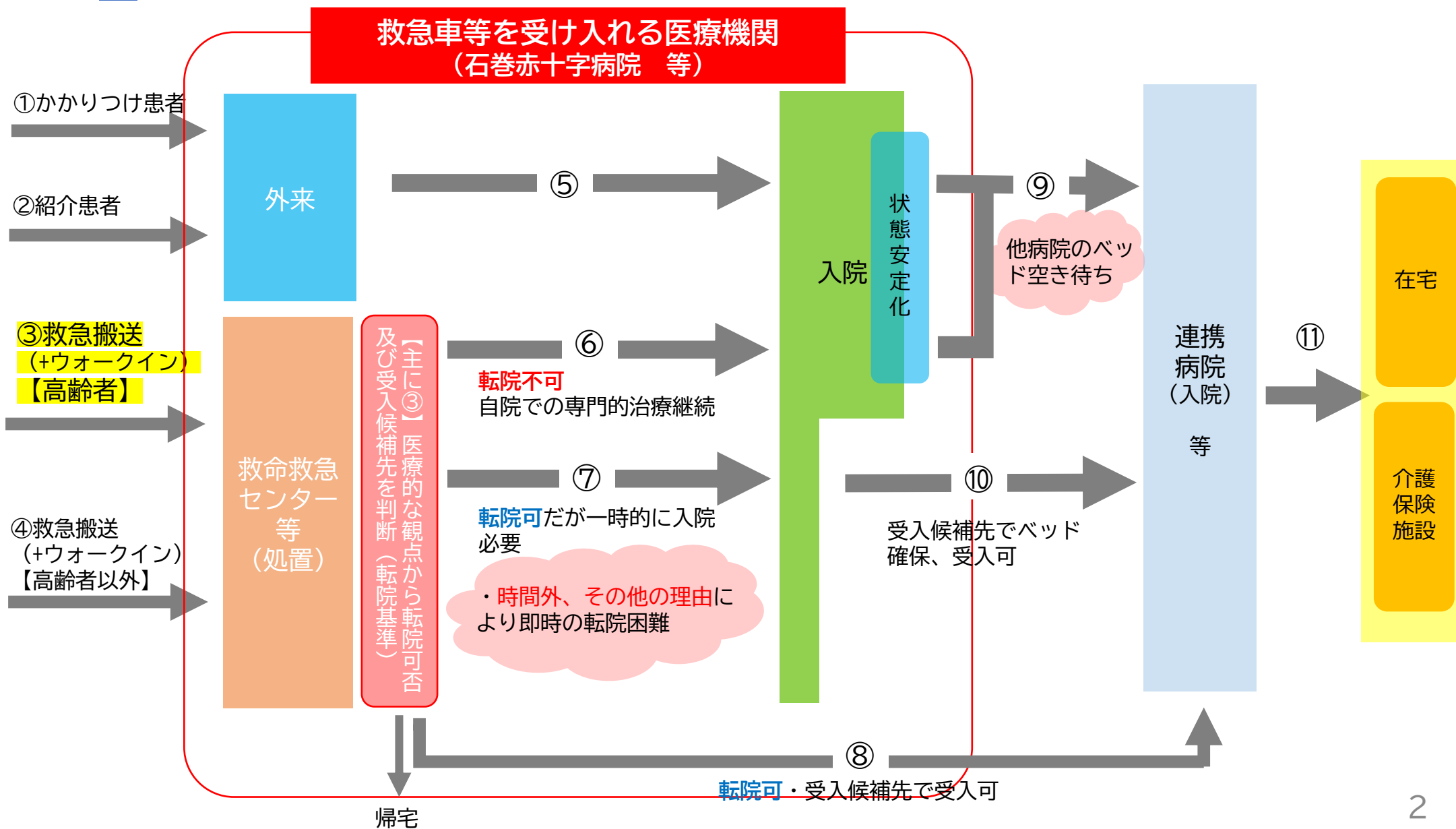
- 1 転院調整のイメージ図について
- 2 新たな地域医療構想の策定に向けた考え方について
(入院医療)

石巻地区を中心とした高齢者救急に係る転院調整について

1 転院調整のイメージ図について

ね
ら
い

- ・主に③を対象とした転院基準を作成し、⑥、⑦、⑧、⑩の流れをルール化し地域の病院間で共有
→ これまで各当事者間で判断に差があった事項をルール化することで、できる限り転院調整をスムーズに
- ・将来的には⑪の流れも含めた連携体制構築を目指す



石巻地区を中心とした高齢者救急に係る転院調整について

2 新たな地域医療構想の策定に向けた考え方について（入院医療）

入院医療の現状と課題

- 地域ごとに、人口構造の変化や医療資源の状況が異なり、抱える課題が異なる。
- それらを踏まえ、医療需要の変化等に対応した持続可能な入院医療提供体制を構築することが重要。

医療機関機能の確保

- **医療機関機能の確保の協議を通じて将来の提供体制の確保の取組を推進**

急性期拠点機能

- ・ 構想区域毎に、人口20～30万に1つを目安に確保
- ・ 手術等の急性期医療を集約して提供
- ・ 新興感染症等への対応
- ・ 地域の人口や医療需要等を踏まえた病床のダウンサイジング

在宅医療等連携機能

- ・ 地域での在宅医療の提供
- ・ 他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を実施

高齢者救急・地域急性期機能

- ・ 誤嚥性肺炎等の高齢者救急を受入
- ・ 高齢者を中心に入院早期からのリハビリテーションを提供
- ・ 大都市等においては頻度の多い手術を提供

専門等機能

- ・ 集中的なリハビリ、中長期にわたる入院医療、有床診療所の担う地域に根ざした診療、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を提供

医育及び広域診療機能（大学病院本院）

- ・ 都道府県と連携した人的協力
- ・ 症例数が少ない医療などの広域的な視点での診療
- ・ 地域で多様な症例に対応する人材の育成

急性期医療の役割分担に向けた取組

手術

- ・ 今後の医療需要の質的变化、医療従事者の持続可能な働き方の確保の必要性を踏まえ、手術症例の集約化と医療機関間の役割分担を進めることが重要。
- ・ 役割分担については、地域全体の入院医療提供体制を整備する観点から、急性期拠点機能、高齢者救急・地域急性期機能を担う医療機関、大学病院本院が連携し協議。

救急医療

- ・ 今後更なる増加が見込まれる高齢者救急を含め、救急搬送の需要を受け止めることのできる体制の整備に向け、救急車の適時・適切な利用や受入時の役割分担、受入直後の下り搬送・上り搬送及び急性期を経過した後の転院搬送に係るルール作りが重要。
- ・ 役割分担については、救急搬送体制全体の観点も含め、急性期拠点機能、高齢者救急・地域急性期機能を担う医療機関や、消防機関等とともに協議。
- ・ 救急搬送受入後の連携について、急性期拠点機能を担う医療機関での救急車受け入れ後、自施設での医療提供を必ずしも要しないと判断された患者については、適切なリハビリテーションの実施等のため、高齢者救急・地域急性期機能を担う医療機関へ下り搬送することや、高齢者救急・地域急性期機能を担う医療機関で対応が困難な救急搬送患者を、急性期拠点機能を担う医療機関へ上り搬送できる連携体制の整備も重要。